

事業活動実績報告書

施設名	千鶴幼稚園
00 教育理念	・健康な子 ・協調する子 ・よく考える子 の育成
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 表現
1 事業名	音楽遊び
2 実施期間	令和 5 年 4 月 20 日 ~ 令和 6 年 3 月 7 日

3 取組概要	(取組日) 令和5年4月20日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するもの
	4/20 年中第3保育期の進捗状況、とりくみたい楽器探し 小太鼓、大太鼓、トリオ、シンセサイザー、カラーガード、ダブルフラッグ、シンバル、指揮者の中でのどの楽器に取り組みたいか実際に試す。好きな楽器を一か月試してみる。	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するもの
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること
		5/25 ドラムマーチ、カラーガード、ダブルフラッグの基本練習を始める。取り組みたい楽器を決定 一曲目に練習に入る。
	(取組日) 令和5年 6月 29日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するもの
	6/29 1曲目の練習、ガードの演技練習 各パート別に練習 運動会に向けてパートごとに練習を続ける。9月 各パートの連数から今度は一緒に合奏を開始 一日60分の練習を続ける。10月の運動会に向けて練習を続ける。	
	(取組日) 令和 5年 10 月 26 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するもの
	年長組は運動会で終了、卒業 次は年中組にバタンタッチ 年中組の基本動作(歩き方、左右の向き方、後ろ向きなどゲーム感覚で楽しみながら少しずつ覚えていく。 ばち打ちあそび、	

3 取組概要	(取組日) 令和 5 年 11 月 30 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の
	年中組 基本動作、楽器をもって前進歩行の練習、小太鼓のばち打ちあそび 12月、1月は学年、クラスで基本練習	
	(取組日) 令和 6年 2月 8 日 ~ 令和 年 月 日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の
	2024 2/8 演習してきたものの発表 皆の前で自分の取り組んできたものを見せ合う。各自のパートの決定	
(取組日) 令和 6年 3月 7日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の	
2024 3/7 各パートごとに練習 トリオ、大太鼓、小太鼓、シンバル、カラーガード、ダブルフラッグ、グロッケン、指揮者 それぞれが曲目毎に演奏をする。		
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の	
(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 活動内容が分 かるもの 取組に関するも の	

効果検証報告書

施設名	千鶴幼稚園
教育理念	・健康な子 ・協調する子 ・よく考える子

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	音楽遊び(使って楽しい楽器、音遊び)
2 事業概要	音楽遊びを通して音の違い、綺麗さ、調和する大切さ、感性に触れる経験をする。

計画時

3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況、 月に一度、外部講師により指導、教員も講師からの指導を受ける。(放課後、子供たちの指導後)担任が講師のいないときでも子供たちに次回までの課題を子供たちと進める。年間で約3曲ほどの演奏を目指す。
--------	---

事業後

3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 簡単には進まない。一人ずつ丁寧な使い方、持ち方を伝える。地道な指導が続く。太鼓はリズムの中心になってリードする大切な役割があり、鼓面の中心をはじくようにたたくことを伝える。シンバルはアクセントになる大切なパートであり、大きなストロークで面が重なるように合わせることを、そして合わせた後は素早く難し、シンバルの音を響かせることを知らせる。ほかの楽器もそれぞれの役割を伝えると責任をもって自分のパートに取り組むことができた。
-------------	--

計画時

4 事業のねらい	・初めて楽器にふれる子供が多い中、演奏を完成させるという約束を決め、意欲を高めることで、最後まで諦めずに頑張る姿勢を育てる ・音楽を通して、感性を豊かにする
----------	---

事業後

4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 どうしてもできない楽器は別の楽器に取り組むよう子供たちの相談に乗った。担任だけでなくほかの教員にも話したり、保護者にも進捗を伝え、いつでも応援できる環境を作ることができた。熱心な保護者は家で子供と一緒に練習したりして乗り越えていった。
-------------	---

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 はじめは何の曲か、どこを練習しているのか子供たちはわからない。しかし、だんだんと進んでいくと、曲目がわかり、さらに聞いたことのある曲であるとますます積極的に先へ進めるようになる。また、リズムや音階を知るようになると、その喜びを保護者と共有し、励まされて頑張るようになる。同時にみんなで演奏する喜びを知り、音楽の楽しさを感じるようになる。
---------	--

事業後

5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 子供たちはなんども練習を繰り返していた。バスの子は乗車するまでの待ち時間を使って練習していた。できた喜びを感じるとさらに発展をしていく。友達と遊んでいるときには子供同士でリズムを口ずさむ姿があり、楽しんで取り組んでいる様子だった。
-------------	---

計画時

<p>6 環境構成</p>	<p>・子供たちのつかう楽器は小太鼓、大太鼓、トリオ、グロッケン、シンバル、スラッグ、ダブルフラッグ、指揮者のタンバリン、鍵盤ハーモニカ等。たくさんの楽器を扱うのでメンテナンスに時間がかかる。また、大きな音が出るので、音楽室を利用して近隣に迷惑が掛からないように配慮する。 ・子供たちは曲目や曲想がわかるとどんどん進められるが、楽譜が読めないのは当然なので時間がかかる。指導者の粘り強い気長な姿勢が大切である。</p>
<p>事業後 6についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>同じ楽器の子供たち同士で練習していると、お互いに教えあう姿があった。すると不思議なことにどんどんと進んでいく。友達同士の良さが垣間見えた。</p>
<p>7 期待される効果 児童の姿</p>	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <hr/> <p>音楽を演奏することだけが目的ではない。努力する気持ち、継続する粘り強さ、友達と一緒に演奏する大切さとハーモニーを作り出す喜び、全員が一体となり強い絆が生まれることが目標である。</p>
<p>事業後 7についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>第二保育期が終わるころになると年長組の子供たちは大きな成長が目に見えるくらいである。音楽を通しての「たたずまい教育」を進めた結果、個々の子供たちの態度が自信を持ってきたことを感じる。</p>
<p>8 効果検証 総括</p>	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <hr/> <p>音楽遊びから最終的にはマーチングへと進む取組を子供たちがやり抜くためには、地道な指導が必要である。調和した演奏やメリハリのある曲が出来上がると、「この曲がいい」「大好きだ」といった前向きな言葉が飛び交う。そして音楽の演奏が素晴らしいだけでなく、友達同士のつながりが生まれてくる。感性の成長から人間同士の絆への発展が素晴らしい。これからの生活の糧になっていくものと信じる。</p>